

学習指導案例

6年組		指導者	〇〇 〇〇	教科等	国語科
単元	単元名等	物語を読んで、登場人物の生き方から考えたことを語り合おう (教材名「海の命」)			
	目標	(1) 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすることができるようにする。(知識及び技能) (2) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるようにする。(思考力, 判断力, 表現力等) (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとするようにする。(学びに向かう力, 人間性等)			
	主な学習活動や指導上の工夫	・「登場人物の生き方から考えたことを伝え合う」活動を言語活動として位置付ける。 ・既習事項を振り返ることができるように、掲示物や ICT を活用する。 ・「太一の心情や行動」「根拠となる叙述」「自身の体験」「考えたこと」などと結び付けながら考えることができるよう、ワークシートを工夫する。			
本時 ○ /全 ○ 時間)	ねらい	太一が瀬の主にもりを打たなかった理由を、文章中の叙述や自分の体験との比較から考え、理由と根拠のつながりを意識してまとめることができるようにする。			
	評価規準【観点】	太一がもりを打たなかった理由を、父や与吉じいさの生き方と結び付けたり自分の体験と比べたりしながら考え、自分のことばでまとめている。【思考・判断・表現】			
	展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【めあて】太一の生き方について、自分の考えをまとめよう。 </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 20px; height: 100px; border-left: 2px solid black; margin-right: 10px;"></div> <div style="width: 80%;"> <p>○掲示物や ICT を活用し今までの学習を振り返らせる。 ○各自が見通しをもった状況となったら、課題を位置付ける。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【課題】太一がもりを打たなかったのはなぜか。 </div> <p>○大魚に出会ってから「大魚はこの海の命だと思った」までの太一の心情の変化を整理する。 ○自分の考えがもちにくい児童には、ICT や掲示物を活用して今までの学習の中から想起できるようにする。 ○大魚に挑む太一の様子を父や与吉じいさが見ていたら何というかを考えさせる。 ○他者の感情を理解することが苦手な児童には、気持ちの変化を図や矢印などで視覚的に分かるようにすることで、言葉等で表現できるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【まとめ】 海の命 (瀬の主) とも、ともに生きることが大切だと思ったから。 これからも、父や与吉じいさのように、海とともに生きていくことが大切だと思ったから。 </div> <p>○学びを自覚させるために、振り返りの視点を明確に持たせた上で、振り返らせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【振り返り】 ・話し合い活動での友達の考えを参考にした。 ・太一の生き方や考え方と自分の体験とを重ねながら、クラスのみんなへ伝わるようにまとめた。 </div> </div> </div>			

◎特別な教育的支援を必要とする児童生徒や「努力を要する」状況の児童生徒への配慮(手立て等)の位置付け。